

TAGAJO HIGH SCHOOL 2025

多賀城高校は創立から 50 年目を迎え、未来への新しい一歩を踏み出します



宮城県多賀城高等学校 学校案内

スーパーサイエンスハイスクール指定校
ユネスコスクール加盟校



学校長挨拶



宮城県多賀城高等学校
校長 大宮司 昭倫

昭和51年の開校以来、「さとく ゆたかに たくましく」を教育目標に、生徒一人一人の成長を支援する人間教育を実践しながら、本年度、開校50年を迎えました。また平成28年度に県内初、全国2例目の防災教育学科「災害科学科」を設置し、はや10年となりました。卒業生も1万5000人を超え、県内をはじめ全国各地で活躍しています。

本校の学びの特徴は、様々なフィールドワークや産官学連携による体験的な探究活動です。すべての生徒が防災学習に取り組み、災害への備えや地域の減災、命の尊さを考えながら学校生活を送っています。

また平成28年度に国連ユネスコスクールの認証を受け、平成30年度からは文部科学省が推進するSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定校となり、現在もSSH第II期の指定が継続され様々な探究活動に取り組みながら、論理的思考力を高めるための実践や防災・減災・伝災を科学的に探究する学習をさらに深化させています。これらの先進的な取り組みが評価され、令和3年度に内閣総理大臣表彰を受けるなど、本校の様々な活動に対して全国から注目をいただいております。

充実した教育活動により、21世紀型スキルと称される「新しい価値を創造する力」「多角的に考え表現する力」「問題解決のために果敢に挑戦する力」を培い、すべての多賀城高生は、一人一人の個性を活かし、将来の夢に向かって有意義な高校生活を送っています。

このリーフレットには、本校の特色ある学びの紹介や学校行事や部活動、卒業生の進路情報などをわかりやすく掲載していますのでどうぞご覧ください。

さとく

知性と思考力の獲得

ゆたかに

人格の尊重と人間力の育成

たくましく

心身の健康

多賀城高校での生活



生徒会長
大嶋 心晴
(高崎中学校出身)

多賀城高校では、防災・減災・伝災活動などSSHに関する活動がたくさんあるため、多賀城高校ならではの素敵な経験を多く培うことができます。

講義や多高主催の行事などで、外部の方や他県の高校の方と関わる機会も多いので、やりがいを感じることもできて、自分の自信にも繋がります。

また、多高三大行事では、春、夏、秋それぞれに行事が開催されるので勉強や部活とのいいバランスで学校生活を楽しめると思います！

3年間の高校生活を多賀城高校で、新しい仲間や頼れる先輩と共にいいものとしましょう！



普通科・元生徒会長
(令和7年3月卒業)
澤田夕寿綺
(多賀城中学校出身)

本校はSSH指定校、ユネスコスクール加盟校として、特徴ある教育活動が行われている他、全国で2例目となる災害科学科が設けられており、災害について幅広く学ぶことが出来ます。また、「くらしと安全A」や「情報と災害」などの普通科災害科学科共通科目があるため、学科問わず災害を学べる、全国的にも珍しい学校です。その他にも、他校・他県との交流が盛んに行われており、生徒会活動では特に多くの方と関わる事が出来たため、積極性やコミュニケーション能力が向上できました。みなさんもぜひ、この特色ある多賀城高校で充実した3年間を送ってみてください！



災害科学科
(令和7年3月卒業)
阿部 春佳
(田子中学校出身)

災害科学科は、全国でも数少ない防災系の専門学科であり、通常の学習に加えて社会の様々な場面で活かすことのできる防災について体験的・実践的に学ぶことができます。外部で発表する機会や、被災地の巡検など座学では得られない刺激をたくさん受けることで行動力やコミュニケーション能力を養うことができます。また、他校の生徒や外国の生徒との交流をする機会もあり、同年代の方の多様な考え方が自身の成長にも繋がります。そして3年間同じ仲間と過ごすため、生徒間はもちろん先生方との距離も近く、楽しく充実した学校生活を送ることができます！災害科学科で自分自身を大いに成長させ、充実した高校生活を多賀城高校で過ごしましょう！



多賀城高校の特徴



SSH スーパーサイエンスハイスクール

Super Science High school

文部科学省では、国際的な科学技術人材を育成することを目指し、理数教育に重点を置いた研究開発を行う「スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業」を実施しています。本校は平成30年度からの1期5年間を終えて、令和5年4月より2期目の指定を受けました。2期は研究課題として『**様々な災害から派生する諸課題解決によるコンピテンシー伸長プログラムの開発**』を設定し、持続可能な社会をつくる実働型の科学技術人材の育成を目指しています。



▲1学年フィールドワーク

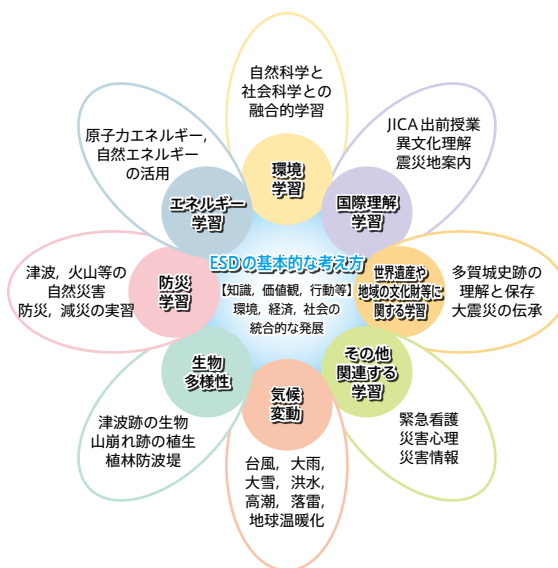


▲栗駒・気仙沼巡検



ユネスコスクール

ユネスコが提唱するESD (持続可能な開発のための教育) の観点に基づき、人間を含めた命ある生物が遠い未来までその営みを続けていくための学習を教科横断的に行います。多賀城高校では**防災学習プログラム**、**自然科学学習プログラム**、**国際理解学習プログラム**をESDの柱と定め、持続可能な社会を担う人材を育成するための教育を授業、特別活動などあらゆる場面で行います。



多賀城高校のESDと3つのプログラム

① 防災学習プログラム

防災・減災の基本知識を身に付けつつ、自然環境と人間社会の有り様を考え、あらゆる災害に強い社会づくりを発信する。

② 自然科学学習プログラム

実験や実習、フィールドワークをとおり、自然災害について科学的視野から調べ、自然科学の原理や自然環境の多様性について学ぶ。

③ 国際理解学習プログラム

世界の災害を調べたり、東日本大震災の被災と復興の様子を海外にも発信したりすることで、防災・減災についての情報や取組を共有する。

～防災・減災リーダーの育成～

災害科学科

SSH
Super Science High school



現地での学びの機会を得るため、1年次、2年次に巡検や研修があります。その中で様々な団体との連携を通して最先端の科学に関する知見を深めることができます。また、国際的な視野を養うために、Zoom（ビデオ会議ツール）等を活用して海外の学校との共同研究を行い、外国と防災・減災についての情報交換をしています。さらに、海外交流として来日した外国の方にも被災地を案内することもあります。

POINT
1

現地でしか学べないこと

SSH
Super Science High school

災害科学科では、1年次に栗駒・気仙沼巡検、浦戸・大郷巡検、石巻・女川巡検を実施します。浦戸巡検では、海洋研究開発機構（JAMSTEC）との連携により塩竈市浦戸諸島において野外実習を行い、実験の手法について学びます。2年次には日本を代表する研究機関で研修を行う「つくば研修」を実施します。防災科学技術研究所（NIED）や産業技術総合研究所（AIST）等で最先端の科学に関する知見を深めます。

【これらの活動は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の事業費によって行われます。】

2年次 つくば研修



1年次 浦戸巡検



被災地にある学校として、
防災・減災のリーダーとして
国際的に活躍できる理系人材の育成
を目指しています。

POINT
2

国際的な視野

SSH
Super Science High school
Member of the Associated Schools Network

さらなる高度な学問を体系的に学び、地球規模の課題に対して先駆的な立場で国際的に活躍できる人材を育成します。自ら国際的問題点を抽出し、それに対する自分なりの解決策を考え、発表する活動などを通して、国際化の進む社会を生き抜く力を身に付けます。また、Zoom（ビデオ会議ツール）を活用した、台湾・インドネシア・キリバスとの交流など、海外に目を向け、視点を広げると共に、防災や減災についての情報を世界に向けて発信しています。



POINT
3

命とくらしを まもる

SSH
Super Science High school
Member of the Associated Schools Network

2011年3月11日に発生した東日本大震災。その被災地にある学校として、今後の復興の担い手を育成し、防災、減災の観点から今後の社会を力強く生き抜く力を育みます。普通科の学習内容を発展させ、防災や減災、環境の切り口なども加えて学習します。専門科目では、過去の災害や環境から見られる諸問題を学習題材にするなど、自然科学的なアプローチや人間社会学的視点を養う学習まで幅広い内容を扱います。普通科での学習内容を組み替え、多岐にわたる内容も扱うため、より深い学びに繋がります。

普通科
定員240名
6クラス

普通科では、1年次に共通教科・科目を学習し、2年次より上級学校への進学を念頭に理系または文系に分かれて学習をします。少人数制での授業展開も実施され、きめ細やかな授業が行われています。

普通科で学ぶ教科・科目(青色は学校設定科目)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	音楽Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	くらしと安全A	情報と災害	SS課題研究基礎	LHR																		
2年	文	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	化学基礎	SS化学	SS物理 SS生物	体育	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	くらしと安全A	情報と災害	SS課題研究	LHR																	
	理	論理国語	古典探究	公共	数学Ⅱ	数学B	化学基礎	SS化学	SS物理 SS生物	体育	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	くらしと安全A	情報と災害	SS課題研究	LHR																		
3年	文	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	政治・経済	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	数学Ⅱ	数学C	論理・表現Ⅲ	文学国語	時事問題実践	情報実践	演奏研究	音楽Ⅱ	SS課題研究	LHR																
	文	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	政治・経済	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	数学Ⅱ	数学C	論理・表現Ⅲ	文学国語	時事問題実践	情報実践	演奏研究	音楽Ⅱ	SS課題研究	LHR																
	理	論理国語	古典探究	地理探究 政治・経済	数学Ⅱ	数学Ⅲ	SS数学	数学C	SS化学	SS物理 SS生物	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	数学A	素描	美術Ⅰ	SS課題研究	LHR																
	理	論理国語	古典探究	地理探究 政治・経済	数学Ⅱ	数学Ⅲ	SS数学	数学C	SS化学	SS物理 SS生物	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	数学A	素描	美術Ⅰ	SS課題研究	LHR																

※通年で学校設定科目「ボランティア」1単位を設置(承認された者のみ)

※2年次のSS課題研究の1単位分は特別時間割により編成される(長期休業中など)

多賀城高校

SS 課題研究・SS 災害科学研究

(普通科)

(災害科学科)

1 学年

フィールドワークや巡検、それらの事前学習を通して、情報収集・活用力、調整力、課題発見力、協働力の獲得を目指します。



2 学年

1学年で身に付けた各能力を生かして、班別の研究を行います。普通科・災害科学科問わず、外部で行われている研究発表会にも積極的に参加しています。



3 学年

これまでの研究の成果を論文にまとめます。



学校設定科目 (普通科)

(災害科学科)

多賀城高校では、「くらしと安全A」「情報と災害」などの本校独自の科目を普通科にも設定しています。これらの科目では、防災や減災、あるいはESD(持続可能な開発のための教育)の視点を積極的に取り入れ、被災地にある学校として、今後の未来を創る人材を育成すべく、新たな視点での学習が行われています。より高度で専門的な学習を行うために、専門的知見に富む専門家を招いての特別授業も積極的に行っています。

地域連携 (災害科学科)

「くらしと安全A・B」の科目の中では、防災教育の一環として、地域資源を活用し、海上保安庁の指導のもと行われる水難救助の特別授業を実施しています。また、多賀城市やJR東日本などの地元企業とも連携し、防災に関する課題研究を行っています。

学生教育課程

災害科学科

定員40名
1クラス

災害科学科では、普通科の学習内容を防災や減災、環境の切り口も加えて学習します。専門科目では、過去の災害や環境から見られる諸問題を学習題材にするなど、自然科学的なアプローチや人間社会学的視点を養う学習まで幅広い内容を扱います。

災害科学科で学ぶ教科・科目(黄色は学校設定科目)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語		言語文化		社会と災害		数学Ⅰ			数学A		実用統計学	自然科学と災害A			自然科学と災害B			体育			英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		くらしと安全A		情報と災害	SS災害科学研究基礎	LHR			
2年	論理国語		古典探究		公共		数学Ⅱ			数学B		自然科学と災害B		化学		物理 生物		体育		美術Ⅰ		英語コミュニケーションⅡ			科学英語		くらしと安全A		情報と災害	SS災害科学研究		LHR		
3年	論理国語		古典探究		歴史総合		国際社会と政治・経済		数学Ⅱ 数学Ⅲ			数学C		化学			物理 生物		科学技術と災害 生命環境学		体育		英語コミュニケーションⅢ			くらしと安全B		SS災害科学研究	LHR					

※通年で学校設定科目「ボランティア」1単位を設置(承認された生徒のみ)

※2年次のSS災害科学研究の1単位分は特別時間割により編成される(長期休業中など)



での学び

専門機関との連携(災害科学科)

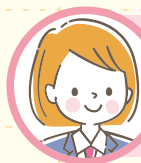
防災科学技術研究所(NIED)や産業技術総合研究所(産総研)、土木研究所などの専門機関と連携した学習を実施しています。様々な大学や石巻赤十字病院より講師を招いての授業を行うなど、より専門的な学習の機会も多く設定されています。



学校設定科目のイメージ



多賀城高生の1日



JR を利用して塩釜駅・下馬駅から徒歩や自転車で通学する生徒が多くなります



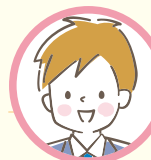
8:20 生徒登校
8:30 ~朝のHR



8:45 ~授業 (50 分)
午前中は1校時から4校時まで



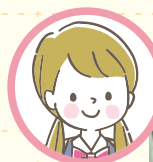
12:35 ~昼休み



お弁当や軽食を買うことができます



13:20 ~午後の授業
6校時までの日と
7校時までの日があります



皆で協力して清掃を行います



16:10 7校時終了
全員清掃・帰りのSHR



放課後は部活動



さまざまな場所で部活動が盛んに行われています



18:45 生徒完全下校



多賀城高校の1年

4月

入学式
新入生オリエンテーション



5月

前期生徒総会
体育祭



6月

高校総体
第1回定期考査



7月

多高祭



8月



9月

第2回定期考査
球技大会



10月

11月

第3回定期考査
後期生徒総会



12月

修学旅行

1月

3.11 メモリアル Re-Dit ミーティング



2月

第4回定期考査

3月

卒業式



多賀城高校の部活動

多賀城高校には多様な部活動があります。運動部、文化部ともに計画的かつ主体的に活動しています。部活動に参加することによって、技術の向上だけでなく心身の鍛錬とともに、同じ目標に向かう生徒間で強い絆を築き、人間的にも大きく成長することができます。

部によっては、運動部文化部ともに、県内各種大会やコンクールで好成績を収めるだけでなく、上位大会（東北大会や全国大会）へ出場している生徒もいます。



運動部

硬式野球 / サッカー / 陸上競技 / ラグビー
ソフトボール / 弓道 / 剣道 / 柔道 / 水泳
山岳 / 硬式テニス / ソフトテニス / 卓球
バレーボール / バスケットボール
バドミントン

文化部

吹奏楽 / 情報処理 / 語学研究 / 合唱
茶華道 / 家庭 / 軽音楽 / 美術
写真 / SS 科学

【主な大会の成績（令和6年度）】

吹奏楽部	全日本吹奏楽コンクール東北大会金賞 / 全日本マーチングコンテスト全国大会銅賞 / 宮城県アンサンブルコンテスト金賞 / 東北アンサンブルコンテスト銀賞 / 日本学校合奏コンクール 2024 全国大会ソロ&アンサンブルコンテスト銀賞 / 全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会銅賞 / ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会出場
軽音楽部	宮城県高等学校対抗バンド合戦奨励賞
SS 科学部	宮城県高等学校生徒理科研究発表会 / 環境甲子園「奨励賞」受賞 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2024 「ソニークラブ賞」受賞 「Tohtech Dean Award 2024」受賞 「ミヤテレ賞」受賞 「日本光学会東北支部賞」受賞 / 環境甲子園奨励賞
合唱部	NHK 全国学校音楽コンクール宮城県コンクール 銅賞
放送部	宮城県放送コンテスト新人大会 朗読部門 入選
美術部	宮城県高等学校文化連盟東部地区美術展 優秀賞会員賞佳作賞 / 高校生絵画展 in 登米市 2024 登米大賞 宮城県知事賞 登米文化振興財団理事長賞
家庭部	宮城県高校生地産地消お弁当コンテスト 優秀賞
水泳部	県総体 400m 自由形 2 位 6 位 / 1500m 自由形 2 位 / 200m 自由形 8 位 / 東北総体 400m 自由形 7 位 / 1500m 自由形 6 位 / 県新人 400m 個人メドレー 4 位 / 200m 自由形 6 位 / 200m 個人メドレー 7 位 県新人 200m 平泳ぎ 7 位 / 200m 個人メドレー 8 位 / 東北新人 400m 自由形 8 位
サッカー部	県新人大会 3 位入賞
テニス部	県総体男子団体ベスト 16 / 女子団体ベスト 16 / 女子団体ベスト 16
陸上競技部	県総体 男子三段跳び 8 位 / 男子やり投げ 3 位 / 東北大会 男子やり投げ 16 位 / 県新人男子走り高跳び 6 位
バドミントン部	県総体男子団体ベスト 8 / 男子ダブルスベスト 16 / 県新人男子団体スベスト 16
弓道部	県総体男子団体 5 位 / 射道最優秀賞 / 個人第 4 位 / 個人射道優秀賞 / 女子個人 4 位 / 射道優秀賞 / 県新人大会男子団体優勝 / 射道最優秀賞
剣道部	県総体女子団体ベスト 8 / 県新人大会 男子団体ベスト 16
柔道部	県総体男子団体ベスト 16 / 個人 ベスト 8 ベスト 16 / 県新人大会 男子団体ベスト 8 個人ベスト 8 ベスト 16

進路実績

合格者のべ数
過卒生含む

全体の約9割が大学進学を目指していますが、様々な進路希望に対応できるよう、土曜ゼミナール、公務員講習なども設定されています。大学入試を中心とした自己の進路実現に向けて頑張る生徒を支援します。



学校	年度	R6	R5	R4	R3	R2
東北大学			1	1		
宮城教育大学		4	8	4	6	6
宮城大学		18	10	7	10	21
北海道大学			1			
北海道教育大学		1				
旭川市立大学		1	1			
釧路公立大学		1	1			
公立はこだて未来大学					1	
弘前大学		3	1	2		2
青森公立大学		1		1	1	
岩手大学		3	2	5	9	7
岩手県立大学		1	2	2	2	1
秋田大学		3	2	3		2
秋田県立大学				1		2
山形大学		19	29	20	23	12
福島大学		11	6	3	4	3
会津大学			2			
新潟大学			3		2	
宇都宮大学		1		1	2	1
群馬県立女子大学						1
筑波大学		1				
埼玉大学		2				
千葉大学			1	1		
高崎経済大学			2	1		1
東京外国語大学					1	
都留文科大学			1	1	1	1
公立諏訪東京理科大学						1
富山大学					1	
北九州市立大学				1		
琉球大学				1	1	
名桜大学				1		
国公立大学 合計		70	73	56	64	61
大学校	防衛大学校		1			
	防衛医科大学校				1	
	宮城県農業大学校		1			
	大学校 合計	0	2	0	1	1
私立大学（県内）	東北学院大学	152	150	154	148	125
	石巻専修大学	8	6	7	6	9
	仙台大学	3		2	5	4
	仙台青葉学院大学	10	8			
	東北工業大学	32	55	15	20	30
	東北生活文化大学		2	2	1	4
	東北福祉大学	48	45	55	94	58
	東北医科薬科大学	7	5	8	7	6
	宮城学院女子大学	16	16	24	44	34
	仙台白百合女子大学	3	1	1	1	3
	東北文化学園大学	5	6	8	11	10
	尚絅学院大学	10	7	5	12	22

学校	年度	R6	R5	R4	R3	R2
酪農学園大学			2		2	
盛岡大学			1		2	
東北芸術工科大学		3	4	3	4	3
医療創生大学		1		1	2	1
新潟医療福祉大学					2	3
早稲田大学				1		
青山学院大学				1		
立教大学		1		2		
明治大学		1		1		
法政大学		1			3	
桜美林大学				1	2	
国際医療福祉大学		5	2			
駒沢大学		2	2		2	
専修大学		2	4		1	1
大正大学		1			3	
多摩大学					4	
帝京大学		1	1	1	1	1
東海大学		5	1	3	1	1
東京理科大学				1		3
東京電機大学		1		1		1
東京農業大学		1	2	1	1	
東洋大学		1			2	1
日本大学		4	2	4	5	3
日本医療科学大学		4	1	1		
武蔵野大学					3	
明星大学			2	2		2
文教大学		2		1		1
北里大学		1				2
神田外国語大学		2			1	5
神奈川大学		2	1			3
関東学院大学		2		1		
関西大学		1	2	1	2	
京都産業大学				1		1
立命館大学					2	
龍谷大学					3	
短期大学	山形県立米沢女子短期大学		2			1
	聖和学園短期大学			6		5
	仙台青葉学院短期大学	3	6	10	11	11
	仙台赤門短期大学		1	1	1	1
専門各種学校等	会津大学短期大学部	1			1	
	仙台医療センター付属看護助産学校	8	4	4	1	2
	仙台徳州会看護専門学校	1	1	2	2	1
	東北労災看護専門学校	3	2	3	1	1
	仙台市医師会看護専門学校	2		6		
	石巻赤十字看護専門学校	1	2	1	2	1
	葵会仙台看護専門学校	2		1	1	
	公務員	19	12	16	13	11
就職	民間就職	1	2	1	1	1

令和8年度入学者選抜について

求める生徒像

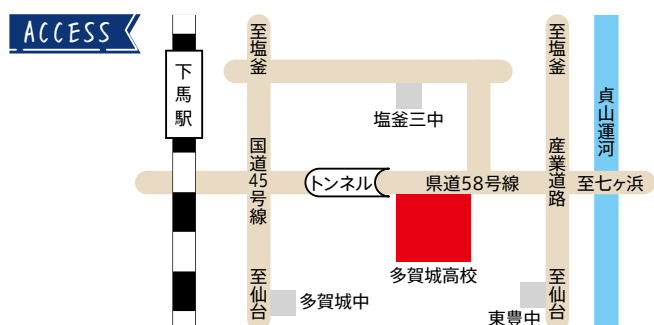
普通科	災害科学科
<p>本校は、「知性の伸長」、「人格の尊重」、「心身の健康」を教育目標に掲げています。</p> <p>文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けており、普通科では、各教科において特色ある授業を実施し、科学的な探究活動を通して、社会の諸課題を解決することのできる人材を育てています。また、基礎学力を養成するとともに、教科での学びを応用した課題の発見と解決について探究的・協働的に学び、研究成果の発表や発信を行うことで、表現力やコミュニケーション力を磨き、広い視野をもって社会に貢献できる人物の育成に努めています。</p> <p>そこで、普通科では次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中学校での学習への取組が良好で、その成果が優秀である生徒 2 自己の進路実現のために学習や探究活動に真剣に取り組み、継続的に努力できる生徒 3 部活動や特別活動、生徒会活動等でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する意欲のある生徒 4 挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒 <p>特に、特色選抜においては、上記の1に当てはまる生徒を重視します。</p>	<p>本校は、「知性の伸長」、「人格の尊重」、「心身の健康」を教育目標に掲げています。</p> <p>文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けており、災害科学科では、防災・減災・伝災を軸に、理科や数学を中心とした特色ある授業を実施し、地球規模の課題を解決することのできる科学技術人材を育てています。また、基礎学力を養い、自然災害や自然環境を考え、災害に強い社会づくりについての学びを深め、防災・減災・伝災を主とした課題の発見と解決について探究的・協働的に学び、研究成果の発表や発信を行うことで、表現力やコミュニケーション力を磨き、広い視野をもって社会に貢献できる人物の育成に努めています。</p> <p>そこで、災害科学科では次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中学校での学習への取組が良好で、その成果が優秀である生徒 2 自然災害や気候変動などの地球規模の諸問題に高い関心を持ち、本学科への志望動機が明確である生徒 3 上級学校への進学を視野に入れつつ、進路実現のために学習や探究活動に真剣に取り組み、継続的に努力できる生徒 4 学校生活においてリーダーシップを発揮するとともに、互いの立場を考え、他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒 <p>特に、特色選抜においては、上記の1に当てはまる生徒を重視します。また、学力検査では、特に数学・理科を重視します。</p>

第一次募集

普通科	学 科	災害科学科
<p>1 配点 (695点)</p> <p>(1) 調査書 (195点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・社会・英語・理科：全学年の評定を1.0倍 ・音楽・美術・保健体育・技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (500点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・社会・英語・理科：得点を1.0倍 <p>2 選抜方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する96人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 <p>学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6：4とする。</p>	<p>選抜順① 特色選抜</p> <p>1 配点 (795点)</p> <p>(1) 調査書 (195点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・社会・英語・理科：全学年の評定を1.0倍 ・音楽・美術・保健体育・技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (600点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・社会・英語：得点を1.0倍 ・数学・理科：得点を1.5倍 <p>2 選抜方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 <p>選抜順② 共通選抜</p> <p>学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6：4とする。</p>	<p>災害科学科</p> <p>1 配点 (795点)</p> <p>(1) 調査書 (195点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・社会・英語・理科：全学年の評定を1.0倍 ・音楽・美術・保健体育・技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (600点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・社会・英語：得点を1.0倍 ・数学・理科：得点を1.5倍 <p>2 選抜方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 <p>学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6：4とする。</p>

第二次募集

普通科	災害科学科
<p>1 配点 (525点)</p> <p>(1) 調査書 (225点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・英語：全学年の評定を1.0倍 ・社会・理科・音楽・美術・保健体育・技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (300点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・英語 (各教科100点満点) <p>2 選抜方法</p> <p>上記1を基に、総合的に審査し、選抜する。</p>	<p>1 配点 (525点)</p> <p>(1) 調査書 (225点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・英語：全学年の評定を1.0倍 ・社会・理科・音楽・美術・保健体育・技術家庭：全学年の評定を2.0倍 <p>(2) 学力検査点 (300点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・英語 (各教科100点満点) <p>2 選抜方法</p> <p>上記1を基に、総合的に審査し、選抜する。</p>



SCHEDULE

オープンスクール

令和7年
7月24日 (木)

多高祭 (文化祭一般公開日)

令和7年
7月12日 (土)

〒985-0831 宮城県多賀城市笠神 2-17-1
TEL : 022-366-1225 FAX : 022-366-1226
<https://tagajo-hs.myswan.ed.jp/>

